

# お手入れ方法

- ◆ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆お手入れをするときは、やわらかいスポンジ以外は使用しない。
- ◆においを防ぐため、こまめにお手入れをする。

## 氷のう

- ・使用後は中身を捨て、十分乾燥させてからキャップをしめ、乾燥した場所で保管する。
- ・表面の汚れがひどい場合は、中性洗剤を使用して手洗りする。

## キャップ・冷たさキープホルダー

- ・スポンジに中性洗剤を含ませ、きれいに洗い、ぬるま湯か水で丸洗いし、すぐに乾いた布で水分をふきとり十分に乾燥させる。

## パッキン

- ・パッキンを氷のうから取りはずし、ぬるま湯か水で丸洗いし、乾いた布で水分をふきとる。その後、氷のうに確実に取りつける。(パッキン表面にゴミなどが付着していると、もれの原因)

## お手入れ上の注意 お手入れ前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

- 塩素系漂白剤は使用しない。サビ・穴あきなど故障の原因。
- 冷たさキープホルダーの外側は、漂白剤を使用しない。サビ・塗装はがれのおそれ。
- シンナー・ベンジン・金属たわし・たわし・みがき粉・クレンザー・化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。傷・サビなど故障の原因。
- 煮沸および食器洗浄機、食器乾燥機などの使用はしない。傷・サビ・変形・もれなど故障の原因。
- 冷たさキープホルダーは丸洗いでできますが、つけ置き洗い(水中に放置)はしない。
- 冷たさキープホルダーを丸洗いした後は、必ず水分をふきとる。ふきとらないと、水滴のあとが残ったり、サビや他のものを汚す原因。
- 長期間ご使用にならないときは、よくお手入れをして汚れを落とし、十分乾燥させて高温多湿を避けて保管する。
- 氷のうは洗濯、ドライクリーニングしない。

# こんなときは

次の項目について確認をおこなってください。いずれの場合もあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症 状	確認するところ	処 置
■キャップからもれる	パッキンが正しく、しっかり取りつけられていますか。	パッキンの取り付け位置や方向、浮きがないことを確認してください。
	キャップがしっかりとしまっていますか。	しっかりとしめなおしてください。
	パッキンが汚れていませんか。	「お手入れ方法」を参考にし、お手入れをしてください。
■保冷が効かない	水を入れすぎていませんか。	規定量になるまで水を減らしてください。
	氷のうに入れる氷の量が少くないですか。	十分な量の氷を入れてください。

※パッキンは消耗品です。使用後半年から1年を目安にご確認ください。

# アフターサービス部品について

本取扱説明書に記載されている製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年となっております。その他、製品に関してのお問い合わせにつきましては、お買い上げの販売店もしくは弊社のお客様相談窓口にてご相談ください。

# 消耗部品のご購入について

製品型名・容量・色柄・部品の正しい名称をご確認のうえ、下記方法でお求めください。(製品型名は製品底面に貼ってあるラベルに記載されています。)

- ①ホームページ………トップページのオンラインショップからお求めください。(取扱部品に限られておりますが、ご了承ください。)
- ②販売店………ピーコック製品を取扱っている販売店でお取り寄せください。
- ③お客様相談窓口………お電話にてお申込みください。

部 品 名
ABC-150型 氷のうセット (氷のう、キャップ、パッキン)
ABC-150型 キャップ
ABC-150型 パッキン

※各消耗部品については、各部のなまえの項目をご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.the-peacock.co.jp>

## お客様相談窓口

固定電話からはこちら

携帯電話からはこちら



0570-094891

06-6453-9489

※固定電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

- 受付時間 9：00～17：00 月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)



ピーコック魔法瓶工業株式会社

〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号

# Peacock

保冷専用

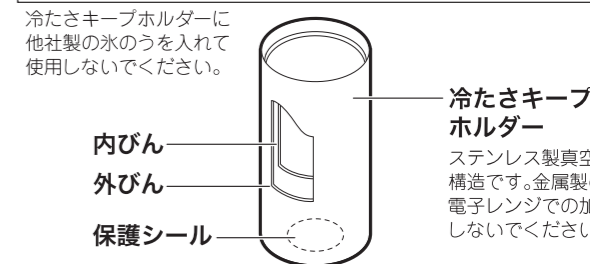
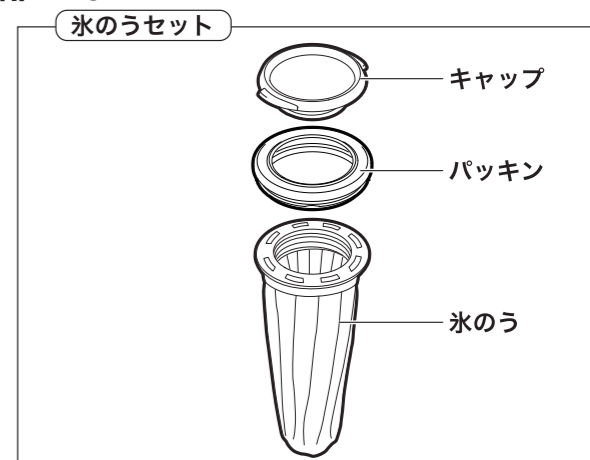
アイスパックスポーツ (布氷のうタイプ)

# 取扱説明書

ABC-150型

このたびは、ピーコック製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。また後々のため、この取扱説明書を大切に保管してください。

# 各部のなまえ



冷たさキープホルダーに他社製の氷のうを入れて使用しないでください。

冷たさキープホルダー  
ステンレス製真空二重構造です。金属製のため、電子レンジでの加熱はしないでください。

取扱説明書中のイラストは、実際のものと異なる場合があります。 ①

# 安全上のご注意

もれやあふれは他のものを汚す原因となります。

この取扱説明書に示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するものです。注意事項を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

<b>警告</b>	人が死亡または重傷を負うおそれが想定される内容。
<b>注意</b>	人が傷害を負うおそれまたは物的損害のみの発生が想定される内容。

記号について

<b>禁止</b>	してはいけない内容です。
<b>必ず実施</b>	必ずお守りください。

## 警告

- ❌ **氷のうで、口や鼻を覆わない。**
  - 窒息するおそれ。特にお子様が使用するときには、必ず保護者のもと十分に注意する。
- ❌ **乳幼児の手の届くところには置かない。またいたずらに注意する。**
  - けがなど危険。
- ❗ **異常の発生や症状の悪化を防ぐため、次の場合は使用しない。**
  - アレルギー体質の方や肌が敏感な方。
  - 当てる部位に骨折、傷、しびれ、腫れ、湿疹、かぶれなどの異常がある場合。
  - レイノー病(症候群)、その他の血管痙攣性疾患、冷えに対する過敏症、局所の血液循環不良、神経障害のある方。
- ❗ **次のことを必ず守って正しく使用してください。血行障害や凍傷、負傷事故を防ぐために、次のような使い方をしない。**
  - 就寝時の使用。
  - 長時間、同一部位の冷却。
  - 妊娠中または妊娠していると思われる場合。
  - 氷のうに摩擦、損傷のある場合。
- ❗ **使用中に次の異常が発生したら、ただちに使用を中止し、医師に相談してください。**
  - あてる部位にけが、骨折、傷、痛み、しびれ、腫れ、湿疹、かぶれなどの異常が生じた場合。

## 注意

- 氷のうおよびキャップの表面が結露する場合があります、他のものを濡らしてしまふことがあります。
- 水や氷を入れた状態で長く放置しない。腐敗・変質の原因。

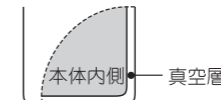
## 注意

- ❌ **絶対に入れない**
  - 水または氷以外のものを入れないでください。
  - ドライアイスは入れないでください。けがや破損の原因。
- 本来の使用目的(氷のう)以外には使用しない。  
本製品は治療を目的としたものではありません。
- 改造や分解修理はしない。故障や事故の原因。けがや破損の原因。
- 落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えない。
- 火のそばに置かない。変形・変色の原因。
- 氷のうセット**
  - 使用中に不快感や、皮膚に異常が生じた場合は、直ちに使用を中止する。
  - 氷のうに入れた水や氷を飲んだり水筒として使用しない。
  - 氷を入れる際は無理に押しこまない。また、角のところが氷は入れない。角をくたくか、水を入れて氷の表面を滑らかにしてください。内側が傷つき、もれ・破損の原因。
  - 規定量以上の水と氷は入れない。破損の原因。
  - お湯を入れない。やけどのおそれ・破損の原因。
  - 直射日光にさらさない。劣化の原因。
  - キャップを開閉するときは、氷のうの袋部分を持って開閉しない。破損の原因。
  - キャップをしめた状態で氷のう部分を強く握らない。もれ・変形など故障の原因。
- 冷たさキープホルダー**
  - 冷蔵庫・冷凍庫に入れない。破損の原因。
  - 底に貼ってある保護シールは、絶対にはがさない。はがすと、保冷効果が低下するおそれ。

- ❗ **かばんなどに入れるときは、縦に置く。** 万が一のものを防ぐため。
  - 氷のうセット**
    - キャップは確実にしめて使用する。もれや衣服を汚す原因。
    - パッキンは必ずつけた状態で使用する。もれや衣服を汚す原因。
    - 氷のうセットを持って運ばない。  
冷たさキープホルダーが抜け落ちてけがの原因。
  - 冷たさキープホルダー**
    - 使用後は、氷のうセットをすくに取り出す。長時間放置すると、傷やサビの原因。

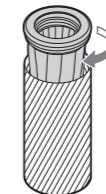
真空層の内部から水の音がする場合は、使用しない。

保冷効果が低下しているおそれ。

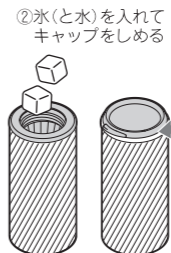


## ご使用方法

- ①冷たさキープホルダーに氷のうをまわしてセットする。
- ①氷のうをまわしてセットする



- ②規定量まで氷(と水)を入れ、キャップをしめる。  
先に規定量の位置まで氷を入れ、次に水を入れてください。氷は角をくたくか、水を入れながら氷の表面を滑らかにしてください。



キャップは、パッキンを持ちながら矢印の方向にまわしてしめてください。

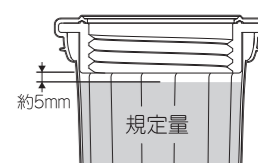
- ③氷のうを使う。  
冷たさキープホルダーから取り出して、冷やしたい部位にあててください。使用した氷のうを冷たさキープホルダーに戻す時は、まわしながらセットする。

# ご使用方法

つづき

## 氷(と水)の規定量

※氷(と水)の量は図の位置までにする。  
氷や水を入れすぎてキャップをしめると、ふきだしたり、氷のうの破損の原因になります。  
氷/水を入れる際は必ず規定量を守り、入れすぎた場合は減らしてからキャップをしめてください。



## 氷のうを使っていない時は

アイシングの合間など、使用しないときはこまめに冷たさキープホルダーに氷のうセットを入れてください。  
保冷効果により氷が長持ちします。

## パッキンの取りつけ方 正しく取り付けられていないと、もれの原因となります。

お手入れなどで、パッキンを取りはずした後は、次の内容を読んで正しく取りつける。

### パッキンの取りつけ方

パッキンの凹部を氷のうの凸部にしっかりと押しこむ。

